

(様式1)

自己評価票

成日 平成23 年10 月22 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870101573		
法人名	医療法人社団 正信会		
事業所名	グループホームむくげ	ユニット名	南館
所在地	〒 310 - 0852 水戸市笠原町358-2		
自己評価作成日	23 年10 月22	評価結果 市町村受理日	平成 年 月 日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0870101573&SCD=320&PCD=08
-----------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成 年 月 日	評価確定日	平成 年 月 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

ゆったりとマイペースで暮らしていける、安心と安らぎのある家庭的なホーム作りをしている。管理栄養士が立てた献立で新鮮な食材を使い美味しくいただいている。経営母体が病院の為、24時間対応や日常の相談、受診を随時行うことができる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝の申し送り時、当ホームの理念を唱和し、理念に基づいた支援が出来るよう毎日の実践につなげるように努めております。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	行事のある時などは、招待出来るよう手配している。また市のボランティアをしている職員より、花の苗など配布されております。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の人々にいつでも見学出来るよう場の提供をしている。また研修生の受け入れを行っている。
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的開催し、活動状況を報告したり、意見交換を図り、サービス向上に活かしております。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議の時、生活福祉課、自立支援センターなど、いろいろ相談にのって頂いたり、連絡を密に取り合い指導して頂いている。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての話し合いをスタッフで話し合い、拘束のないケアを心がけている。止む得ない場合は、必ずご家族の同意を得るように努めております。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全体会議の時や、日常生活の仕事の中で、虐待に当たる事の意味を理解し、防止するようミーティングなどにも常に話し合っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	職員に資料の配布をしております。現在制度を利用している方が数名おります。
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	必ず契約の時に説明を行い同意を得ております。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会の時気付いた点等を伺い、運営推進会議等に伝え意見の検討を行い介護サービスや運営につなげる努力をしている。重要事項説明書には国保連への苦情について案内しており、速やかな対応を心がけている。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	関連事業所の全体会議で運営者は意見を聞く機会を設けている。申し送り時や月1回の全体会議の時に随時意見や提案の検討が出来る体制にある。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々に合った勤務状況を把握し各自が楽しく仕事出来るよう努力している。資格取得を支援、資格手当や、昼休みの残り番手当、日、祭日手当、賞与等の反映がある。
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	その都度介護技術向上の為、資料配布を行い各自勉強をしている。年4回から5回位全体の勉強会を予定している。12月が2回目の予定である。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	他施設との情報交換は行っているが、見学などには至っていない。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の訴えを傾聴し、安心出来るよう支援しスムーズに施設での生活に移行出来るよう関係を築いている。
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期の面接相談の時には家族が困っていることや希望を伺い、本人の意思とは別に把握するよう心がけることによって信頼関係の構築に努めている。
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族の不安に思っている事に対し、必要な支援を優先し、市町村担当者への相談、連携を対応をしている。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事やお茶を一緒にしたり、同じ仕事をしながら家族の様に過ごしている。入居者さんには気配り話しかけを心がけている。面会のない入居者さんには特に気配りしている。
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人をよく理解し、人生の先輩として耳を傾け、何を必要としているのかケアの中で知り、共に信頼関係を築く努力をしている。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人や親せき等の電話の取り次ぎや、来訪の際の面会時には関係が途切れないような雰囲気を作っている。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	出来る方が出来ない方の世話をしたり、入居者さん同士支え合っている。入居者さん同士の関係が上手くいくように職員が調整役となって支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院の為の退所の場合には機会があるごとに様子を伺いに行ったり、家族には電話で状況、状態を伝えたり又家族から伝えていただいたりしていて継続している。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	意思疎通の出来ない入居者さんには、生活の中での会話や表情の中から思いをくみ取るように努めている。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に家族、本人に聞くなどして職員同士が共有出来るようアセスメント、ケース記録に記入しケアに活かしている。
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活の中で出来る事と出来ない事をアセスメントし、出来ない事へのお手伝いをしている。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリング・カンファレンスを行い状態に即した計画に変更するなどチームケアに取り組んでいる。本人、家族から聞き取りが出来る時は介護計画に反映している。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日個人記録に生活の様子や身体状況、本人の言葉等を記載して職員間で情報共有をしている又状態把握と生活支援を行っている。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人、家族の事情に即したサービスの提供に努め、通院、送迎、買い物、緊急受診時の車の手配、付き添い等その後の経過も家族に連絡している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	月2回のシルバーリハビリ体操や年4回のサックス奏者、行事等の時のボランティアさんに協力して頂いています。又運営推進会議の際に民生員さんと意見交換したり情報を得ている。
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所時に説明し、受診や通院はご本人やご家族の希望に応じて対応している。事業所の経営母体は医療法人であり24時間対応出来家族同行が不可能な場合は職員が同行する。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	経営母体の病院の看護師にいつでも相談出来アドバイスを貰い活かしている。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院が長引ならないよう情報交換し、本人が安心出来るよう努めスムーズな退院を支援している。頻繁に病院への面会を行い状態把握を行っている。医師に直接聞く事もある。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	状況の変化に応じて週末期のあり方や、重度化に関して面会の際に家族と話あう機会がある。看護師、主治医との連携を図り情報を共有して取り組んでいる。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故マニュアルや緊急時対応のマニュアルがあり、職員がいつでも閲覧し把握出来るように努めている。対処法などはいつでも話し合いを行っています。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災マニュアルはあり、把握には勤めておりますが、現実には活かされなかった。全職員での訓練を行い実践的な取り組みをこれからも行っていかなければならない。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者さんに対しての関わり方に注意をしたり、説明指導をして意識向上を図っている。プライバシーを損ねない対応に努めている。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の状態に合わせて表情、態度を観察して、本人の意思を尊重し自己決定を働きかけるように努力している。
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人のペースで生活出来るよう好きな事を共に楽しむレクリエーションを提供するなど、希望に添えるよう個別対応に努めている。
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	出張理美容のサービスが月1回あります。髪型や服装等個々の好みを重視し、褒めたり声掛けなど行っております。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の下ごしらえ大根すり、下膳、テーブル拭きなどの手伝いを声掛けると気持ちよく手伝ってくれる。食事は職員と利用者さんが同じテーブルに付き楽しい食事の雰囲気作りを大切にしている。、
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士が献立を作っている。水分、食事摂取量を記録。食欲が低下した場合は主治医への相談を行っている。
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事前のうがいや食後の歯磨き義歯洗浄は力量に応じて誘導や声掛け、準備して毎日行っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を利用し、排泄パターンを知ることにより声掛け、誘導を行い出来るだけトイレでの排泄が出来るよう努めている。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	植物繊維の摂取や散歩、レクリエーションの機会を設け適度な運動や生活リハビリによる自然排便を促している。便秘には腹部マッサージを行う。主治医への相談で処方がある。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日をいつでも入れるように各ユニットずらしているが、声掛けするもなかなか他ユニットでの入浴を嫌がる。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとり自由に過ごして頂いている。散歩や外気浴後など疲れた時は自由に休息して頂いている。安心への支援を心がけ又意思の尊重に努めています。
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方の際、服薬情報を綴じ職員誰もが閲覧出来る様になっている。症状の変化がみられた場合、主治医に指示を仰いでいる。飲み終わるまでの見守り、誤薬が起らないように確認をしている。
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	居室掃除、草取り、新聞折り、洗濯干し、洗濯たたみ、等一人ひとりの力に活かした役割を持って頂けるように支援しています。行事、ボランティアさんの踊り、演奏、リハビリ体操、外食など日常の変化や楽しみが持てる様支援しております。
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日には外気浴や散歩に出掛けております。戸外活動は利用者一人一人の意見を取り入れ可能な限り思いに添った支援に努めております。又家族対応での外泊、外出があり社会参加への継続を支援しております。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	所持管理は難しいが一部の方は小銭を持ち自販機、電話を利用している。買い物など必要な支援は家族、職員が行っております。入居者さんを連れて好みの物を買えればと思っております。
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	公衆電話を設置してあり、いつでも利用できるようになっている。又呼び出したり取り次ぐ支援もしている。手紙を書く入居者さんには便箋や封筒の買い物投函も行う。
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	庭に椅子が置いてありいつでも外へ出られる様にしてある。音楽をかけたり、季節ごとに花を生けたり飾り付けをして楽しむよう配慮してある。
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	玄関ホールの空きスペースや中庭に椅子を設置し自由に使えるようにしてあります。
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	仏壇や位牌、写真等部屋に置き、利用者の居心地の良さに配慮している。
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	館内はバリアフリーになっており、すべての所に手すりを取り付けられ安全の確保と自立への配慮をしている。

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある ○ 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている ○ 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない